

二段

剣道学科問題

平成28年1月作成

受審番号

氏名

1、試合の目的について述べているが（ ）内に適当な言葉を入れなさい。【40点】

試合は技能の（ ）と人間性の（ ）にある。試合の（ ）は立派な試合を行うことと勝つことであるから、勝つための周到な（ ）と節制ある生活とが大切である。（ ）を目的に行う剣道であるから、勝っておごらず負けて卑屈になることなく、勝負を離れて試合内容の充実をこそ重視して、（ ）両面の進歩向上をはかることが必要である。勝ったことを誇るよりも負けた試合を（ ）して、自己の（ ）を矯正し進歩の具とすべきである。

2、足の運び方について述べているが（ ）内に適当な言葉を入れなさい。【20点】

打突には（ ）と言うことを第一に心がけなくてはならない。一打突には必ず両足共に（ ）又（ ）することが常法である。足のともなわない打突は、特別の場合を除いては、十分な打突とならない。足の進め方は後足で（ ）前足を進め、同時に後足を進めるのが常法である。

3、切り返しについて述べているが（ ）内に適当な言葉を入れなさい。【20点】

切り返しは、身体手足の動きを柔らかく、（ ）の働きを巧妙に、進退の動作を早くし、間合を（ ）に知ることができるとともに、（ ）・（ ）を養い、（ ）一致の技を修練するものである。

4、手の内について述べているが（ ）内に適当な言葉を入れなさい。【20点】

手の内とは（ ）、（ ）、相手の打突に（ ）、切り落として、すぐに加える攻撃にも生き生きと自由に刀が使えるように刀を持っている。その（ ）を手の内という。

5、一足一刀の間合について述べているが（ ）内に適当な言葉を入れなさい。【20点】

一般的には、双方が向かい合ったときの距離、間隔をいう。相手と剣をとって対したとき、一步（ ）、相手を（ ）することができるが、一步（ ）相手の打突をはずすことができる。いわゆる（ ）に強く、（ ）にも強いものでなければならない。

6、引揚げについて述べているが（ ）内に適当な言葉を入れなさい。【20点】

引揚げとは、打突後に（ ）を示さず、構えを（ ）、氣勢を（ ）、試合を（ ）する行為である。

7、日本剣道形の効果について述べているが（ ）内に適当な言葉を入れなさい。【20点】

剣道形の（ ）な技、即ち抜き技、すり上げ技、返し技、うけ流し技、などの（ ）やその他の効果を併せて（ ）、これを（ ）に応用し、変化活用できるまで稽古すれば、形の効果は、すこぶる（ ）のである。

8、日本剣道形太刀の形の二本目について述べているが（ ）内に適当な言葉を入れなさい。【20点】

打太刀、仕太刀（ ）で互いに右足から進み、間合いに接したとき、機を見て仕太刀の（ ）を打つ。仕太刀は、左足から右足をともなって左斜め後ろにひくと同時に、剣先を下げて、打太刀の刀の下で（ ）をえがく心持ちで打太刀の打ち込んでくるのを抜いて、（ ）右足を踏み出すと同時に打太刀の右小手を打つ。打太刀は左足から、仕太刀は右足から十分な気位で（ ）を示しながら、相中段になりつつ、刀を抜き合わせた位置にもどり、剣先を下げて、元の位置にかえる。